

特別企画：集合型オンラインセミナー



電源設計・開発セミナー

～DX／GXを支える電源技術～

開催日程：2023年5月中旬
事前申込：250名想定
総来場者：約150名想定
申込締切：2023年3月10日(金)



セミナー告知ページイメージ
※画像は2021年6月に開催された
電源設計・開発セミナーのものととなります



COVID-19の影響でトラフィックが激大。AIやディープラーニング技術が高度化するほど大量のデータを処理するための処理能力が求められます。そうした中で、CPU/GPU、FPGA、ASICなどの高機能LSIは、最先端のプロセッサを適用し、他電圧/大電流駆動により、高性能な処理能力を実現しようとしています。しかし、他電圧/大電流化は、電源回路の求められる要件が増し、電源に起因するトラブルの頻発などを招いています。

今後、電圧は、他電圧/大電流化にどのように対応すべきなのか？
本オンラインセミナーでは、これからのPOL (Point of Load) 電源に求められるニーズを探りつつ、電源の他電圧、大電流化を可能にする技術/ノウハウを紹介します。

Guest Speaker		プログラム	
 長崎総合科学大学 大学院新技術創造研究科 学術（特命）教授 黒川 大二郎 氏	スイッチング電源およびその制御の第一人者であり、DC-DCコンバータ、AC-DCコンバータ、高周波インバータ等を用いた情報通信機器、太陽電池電源、EV用電源、船舶用電源等の開発に深く関わっています。スイッチング電源の制御に関する経験は20年以上。また、電子情報通信学会および情報学会フェローでもある。再生可能エネルギー国際会議 (IREN) や情報通信技術エンジニア国際会議 (IEEE INTELEC) 等の委員を務めている。元東電大学長。	13:00~13:40 基調講演	POL電源を支える制御と実装技術 カーボンニュートラルの求めでデジタル化を進めるためには、CPUやFPGAといったLSIの電圧特性を引き出す電源のPOL電源の高電力効率化が重要である。本講演では、まず、IoTエッジデバイスなどに使用されるPOL電源の高電力効率と小型化のための制御技術について解説する。次に、最近のGaN、SiC等による高周波スイッチング損失低減特性を活かした高効率化を目指す部品内集積実装技術について説明する。
		13:50~14:30 セッション1	IoTエッジデバイスの小型化と低消費電力化に向けた電源ソリューション IoTエッジ・センサーデバイスが産機、FA、セキュリティ、オフィス・ホームオートメーション、農業、インフラ、製造業モーターなどあらゆる用途に浸透し、その小型化と低消費電力化に向けた動きが激しい。これらのデバイスの電源設計の課題とその解決法を、電源ソース毎に代表例を挙げて分かりやすく説明します。
		14:40~15:20 セッション2	モバイルロボットのパフォーマンスを向上させる次世代の電源システム ロボットが製造現場の稼働領域だったことから、市場は急速に発展し、モバイルロボットの需要が高まったことで、電源への要求も厳しくなっています。センサーや制御システムが増え、演算処理能力、稼働量、移動距離が増し、従来の電源では対応が困難です。最先端のモバイルロボットに対応するための、電力供給ネットワークを刷新する必要があります。
			Vicor株式会社 シニアアプリケーションエンジニア 水谷 昌 氏

会期名称 電源設計・開発セミナー
~DX、GXを支える電源技術~

主催 EDN Japan EE Times Japan

開催日時 2023年5月中旬 1DAY

申込締切 2023年3月10日(金)

イベント形式 集合型オンラインセミナー

視聴方法 無料登録制

事前申込者数 約250名想定 来場者数 約150名想定

想定視聴者 製造業のうち主に
高機能LSIを使用する機器の電源設計担当エンジニア
(特に産業、サーバ/ストレージ、通信、医療、車載、モバイルなど機器業界)

想定講師 電源設計・開発の近況、課題解決について話ができる有識者

告知/集客 EDN Japan、EE Times Japanを中心とした当社媒体

運営 アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。
あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。



電子機器設計の基本と応用が分かる実用技術メディア

電子機器、エレクトロニクス技術を開発、設計するエンジニアに役立つ実用的な情報に特化した専門技術メディアです。エレクトロニクス技術の基礎から応用までを網羅する技術解説記事、設計ノウハウ紹介記事の多くは、実際に設計開発現場で活躍する国内外のエンジニアが執筆を担当。現場ですぐに役立つ生きた技術情報が手に入ります。技術解説記事以外にも、日々の製品選定に欠かせない半導体、電子部品、計測機器の新製品ニュースも提供しています。

EDN Japanは、電子機器設計開発現場で活躍するエンジニアの課題解決、スキル向上に役立つメディアとして一層、進化していきます。

アナログ	パワー/電源	ロジック	メモリ/ストレージ
部品/材料	センサー	ワイヤレス	テスト/計測
ソフトウェア/開発環境	Design Ideas		

媒体名	EDN Japan
URL	https://ednjapan.com/
PV	515,951 PV/月 168,506 UB/月 ※2022年8月実績
メルマガ配信数	約12.6万通 ※電子機器設計／組み込み開発 メールマガジン



世界のエレクトロニクス動向が分かる総合情報メディア

エレクトロニクス技術を駆使した製品を設計、開発するエンジニアをはじめ、経営層、マネージャ層などエレクトロニクス業界で活躍する全てのプロフェッショナルに向けたエレクトロニクス総合情報メディアです。グローバルに広がる取材網を生かし、世界中のエレクトロニクス関連ニュースをいち早くお届けしています。

半導体、電子部品、ディスプレイ、電子計測、設計開発ツール、電子材料などに関する技術トレンド、エレクトロニクス業界のビジネス動向を網羅。国内外を問わず、エレクトロニクス業界のキーマンへのインタビュー記事やオピニオンリーダーのコラム記事も掲載。世界を舞台に活躍するエレクトロニクス業界のプロフェッショナルを最新情報で支えるメディアです。

テクノロジー	製品解剖	先端技術	半導体デバイス
プロセス技術	パワー	部品/材料	センシング
通信技術	テスト/計測		

媒体名	EE Times Japan
URL	https://eetimes.itmedia.co.jp/
PV	1,193,997 PV/月 312,248 UB/月 ※2022年8月実績
メルマガ配信数	約12.6万通 ※電子機器設計／組み込み開発 メールマガジン

企画趣旨

デジタルトランスフォーメーション（DX）が進む中で、大量のデータが日々生まれ、それらの大量のデータを処理するコンピューティング能力が求められています。CPU／GPU、FPGA、ASICといったコンピューティングデバイスは、最先端のプロセスルールを適用し、低電圧／大電流駆動により、高性能な処理能力を実現しようとしています。

それに伴い、コンピューティングデバイスを駆動する電源システムも進化が強いられています。低電圧／大電流化は、これまで以上に高精度で安定した電力変換を実現しなければならないなど、厳しい設計条件をクリアしていかなければなりません。

さらにグリーントランスフォーメーション（GX）といった言葉に代表されるようにエネルギー効率の向上も急務であり、電力変換効率のさらなる向上も電源システムに要求されています。

本オンラインセミナーでは、これからのスイッチング電源に求められるニーズを探りつつ、電源の低電圧、大電流化を可能にする技術／ノウハウを紹介します。

- Keywords -

電源設計

CPU／GPU

FPGA

ASIC

出力精度

高速応答
／負荷変動

サイズ

ノイズ／熱対策

電源モジュール

デジタル制御

7nm／5nm

など

関連記事のご紹介



による電源設計・開発に関連した記事の一部ご紹介

クラウドを支える電源システムの設計

<https://edn.itmedia.co.jp/edn/articles/2210/07/news013.html>

エネルギーハーベスティング電源ソリューション

<https://eetimes.itmedia.co.jp/ee/articles/2207/22/news057.html>

ゼロ電圧のスイッチング電源用IC

<https://edn.itmedia.co.jp/edn/articles/2212/06/news036.html>

GaN FETの特性

<https://edn.itmedia.co.jp/edn/articles/2208/04/news008.html>

GaNパワートランジスタとは

<https://edn.itmedia.co.jp/edn/articles/2203/28/news017.html>

など多数。

EDN Japan、EE Times Japan は、継続的に最新の電源設計、開発に関する記事や、課題解決するためのソリューションを記事を掲載しております。

【各セッション枠時間】

主催者セッション : 40分
スポンサーセッション : 30分

13:00～13:40

主催者セッション1

13:50～14:20

スポンサーセッション1

14:30～15:00

スポンサーセッション2

15:10～15:40

スポンサーセッション3

15:50～16:20

スポンサーセッション4

16:30～17:10

主催者セッション2

※ご協賛社様の状況に応じて、主催者セッションの実施枠数は調整させていただく可能性があります。
※上記タイムテーブルは変更となる可能性があります。

	セッション		全リスト	備考
スポンサーセッション	● Live配信+アーカイブ		—	30分のセッション枠をご提供いたします。 会期中登録者にアーカイブ配信を実施
スポンサーアンケート	●		—	講演時間中に独自のアンケートを実施して いただくことが可能です。
全申込者リスト ※想定250名	●		●	セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」 「役職」「メールアドレス」など、名刺情報をリ ストにてご提供します。
自セッションの 視聴者データ・レポートサイト	●		—	自セッションの視聴者の名刺情報を獲得でき ます。
事前アンケート結果	●		●	申込時に立場や選定状況等を尋ね、これらの回答内 容を付随したデータを後日納品します。見込み客の 選別やアポイントを取る時の事前情報としてお役立 て下さい（設問は弊社設定）
スポンサーロゴ掲載	●		●	セミナー告知ページに掲載（貴社サイトへの リンク）します。
資料配布	●		—	セミナー参加者に、視聴画面/サンクスメールでダ ウンロードURLを案内します。カタログ資料など 3点まで提供が可能です。（3点とは別に講演資料 も配布可）
開催報告書	●		●	来場アンケートの集計結果を後日ご提供します。 （個人情報を含みません）
※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の 事前申込者データ数に達しない可能性がございます。 ※ご協賛状況により、実施は見合わせとなる場合がございます。 事前のご了承、およびお申込み締切にご協力いただけますよう お願い致します。 ※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。	¥2,000,000-		¥1,500,000-	
お申し込み締切：2023年3月10日（金）				
（すべて税別・グロス価格）				
Copyright © ITmedia Inc.				

①PR記事 (EDN Japan Special or EE Times Special)	セッションプランにご協賛いただきました場合に限り、 タイアップ記事（貴社セッションをフォーカスした イベントレポート記事も可）を提供いたします。	¥1,300,000 ↓ ¥1,100,000- (消費税別)
②セッション動画 活用リードジェン	セッションプランにご協賛いただきました場合に限り、 セッション動画を活用し、リーズナブルな価格で 追加でのリードジェン獲得を実施いただけます。	¥1,300,000 ↓ ¥900,000- (消費税別)
③セッション動画 納品	セッションプランにご協賛いただきました場合に限り、 セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。 (ライブ配信のみ／編集不可)	¥50,000- (消費税別)
④アフターフォロー セミナー	編集部が貴社の訴求メッセージと読者の関心を掛け合わせた企画を設計。 講師のご提案・アサインから、集客(60名)・配信までITmediaがサポート致します。 ご希望により、編集部や基調講演講師とのパネルディスカッションも可能です。 詳細はこちら https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh	¥2,450,000 ↓ ¥2,300,000- (消費税別)

①②については次ページに詳細説明があります

①PR記事(EDN Japan Special or EE Times Special)

※セッションプランスポンサー限定

貴社のセッションを記事化し、当日来場できなかった方にも
製品・ソリューションをアピールしませんか？

自由
に
掲載
可能

自由
に
掲載
可能

誘導枠掲載位置

TOPページ

記事ページ

サイドリンク

トップリック

誘導枠

誘導枠

誘導枠

実施料金

PV保証タイアップ 2,000PV保証
¥1,300,000 ⇒ **¥1,100,000-**

(税別、Gross)

広告仕様

保証形態	PV保証
保証PV	2,000PV
掲載期間	最短1週間～想定1ヶ月 (保証PVを達成次第終了)
メニュー	タイアップ記事 1本制作 約3,000～4,000字、図版3点以内 コンテンツ掲載費含む 閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等)
記事掲載	EDN Japan EE Times Japan

- ・本メニューは、本セミナーセッションの配信・録画データを視聴しながら記事化するものです。別途取材は行いません。
- ・誘導広告のスペースや原稿内容は当社にお任せいただきます。
- ・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします（事前の確認・指定はできません）
- ・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。
- ・初校の出し直しの場合：¥300,000、
念校以降の修正の場合：¥100,000 を別途申し受けます。

②セッション動画活用リードジェン

※セッションプランスポンサー限定

セミナーにご掲載いただく講演動画、または講演資料をTechFactoryに掲載。
セミナーのためにご準備いただいたコンテンツを活用して、
開催終了後にも継続してリード獲得をリーズナブルにご実施いただけるプランです。

実施料金

¥1,300,000 ⇒ **¥900,000-**

(税別、Gross)

※お申込み期限※ セミナー終了後2ヶ月間以内

セミナー掲載コンテンツ



セミナーに
掲載した
講演動画
または講演資料



製品資料など
新規PDF 1点



TechFactoryに掲載



ターゲットに向けて
メールなどで
貴社コンテンツをオファー

コンテンツ閲覧時に
アンケート回答と個人情報提供の許諾を
取得



獲得したリードは管理サイトで
ダウンロードできます
(日次更新)

保証件数

150件保証

※セグメントなし
※属性指定などプランのカスタマイズも
可能です。担当営業までご相談ください。

掲載／誘導

掲載：TechFactory
誘導：EDN Japan、EE Times Japan、
TechFactoryを中心とする当社運営の
製造業向けメディア会員へのメール配信等

実施詳細

- ・約2カ月想定しています。
- ・保証件数に達した時点でキャンペーンは終了となります。
- ・セミナー終了後、3カ月以内であれば任意のタイミングでキャンペーンを開始していただけます
- ・キャンペーンお申込みをいただいてから最短11営業日でリード獲得開始が可能です
- ・キャンペーンの進捗が著しく悪い場合、コンテンツ追加をご相談することがございます

2023年3月10日(金)

申込締切

締め切りまでに**利用申込書を担当営業にご提出**ください。
用紙及びご提出先は担当営業よりご案内させていただきます。

告知準備

イベント告知にも関連する、セッションのご講演者情報、ご講演タイトル、
貴社ロゴデータなどと合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

4月初旬～

イベント告知
開始

事務局にて、集客のためのイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。

開催準備

開催に向けて、**配布資料・視聴者向けセッションアンケート設問・動画納品の場合のご講演データなどを事務局にご提出**ください。
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りさせていただきます。

2023年5月中旬

イベント開催

イベント本番となります。ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに弊社スタジオ受付にお越しくください。また、開催中は**レポートサイトにてリアルタイムにセッション視聴者数などをご確認**いただけます。

終了後～

会期終了

会期終了後、**3～5営業日以内に事前申込者のリストご提出**させていただきます。
また終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。※予定
開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出させていただきます。

※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。



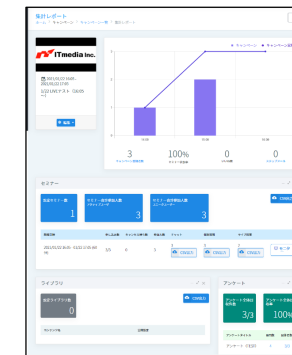
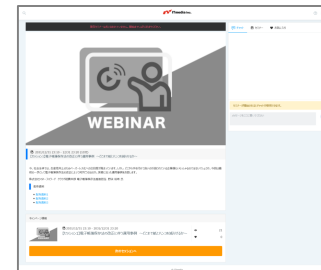
月間約51万PV/16万UB、月間約119万PV/31万UBを誇る製造業専門メディアで告知集客

集客

申込

Live配信

イベント
レポート



アイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。
ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

※画面レイアウトはサンプルです。

Overview of the Seminar

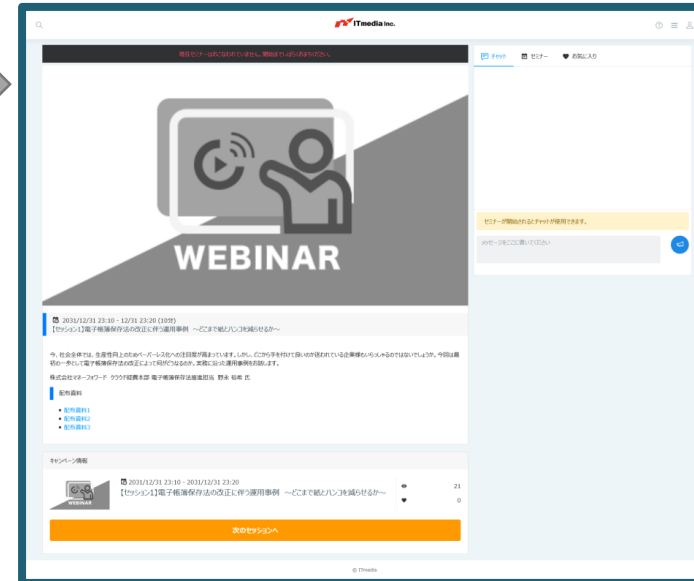
▼セミナー会場 エントランス画面



イベントタイトル・概要

セッション詳細

▼各セッション視聴画面



クリックで講演／
セッション画面へ

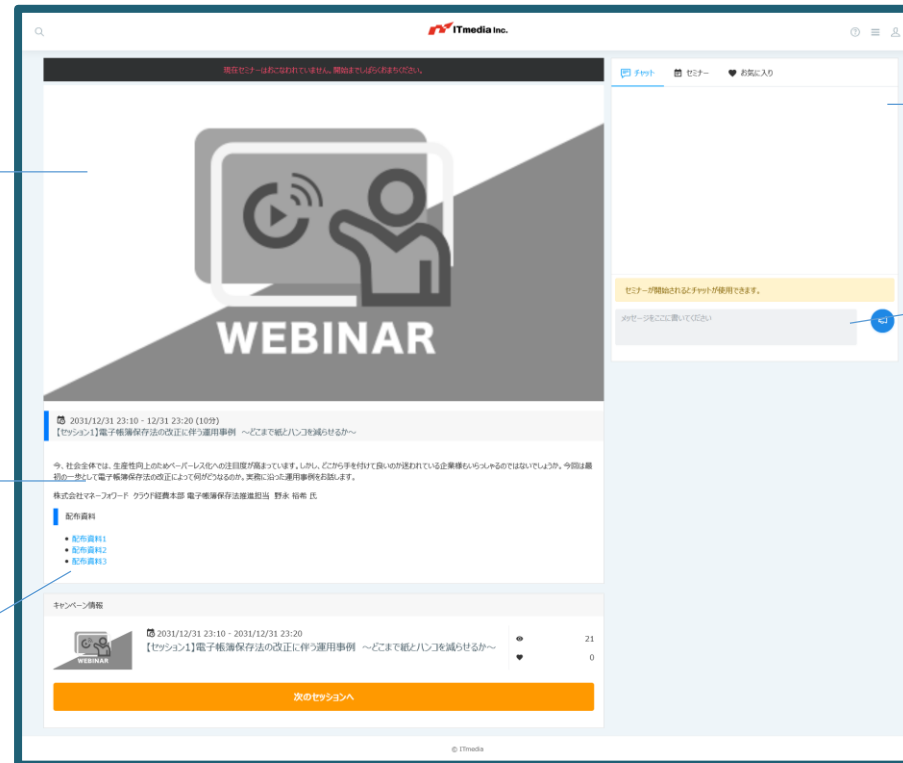
ロゴ掲載

※画面レイアウトはサンプルです。

①講演映像
講演スライド

②セッション紹介

③資料ダウンロード
・関連リンク



④アンケート

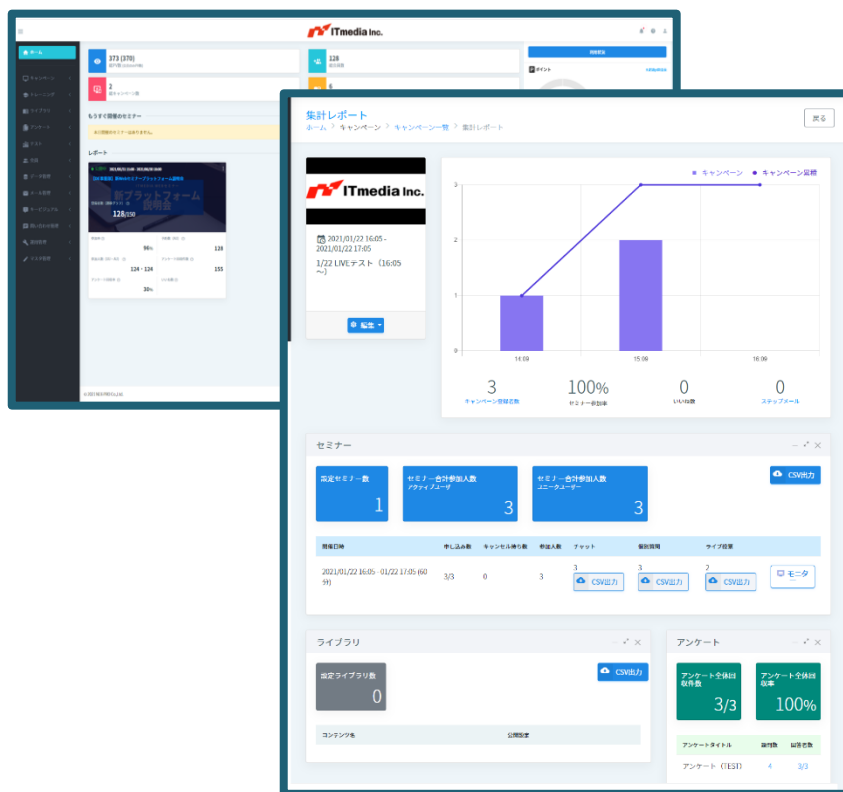
⑤質問送信フォーム

配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。
(※スポンサー様がQA実施を希望された場合のみ)

講演配信だけではなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

※画面レイアウトはサンプルです。

セッションの視聴者情報、視聴時間、流入経路、アンケート結果などを、視認性の高いダッシュボードでリアルタイムにご確認いただけます



オンラインレポート掲載項目

- ・視聴者情報（登録項目、登録日時、登録経路、関連資料アクセス日時など）
- ・ライブ/オンデマンドの視聴人数、参加&離脱日時、アンケート回答数
- ・Q&A、個別質問などの行動履歴



※画面レイアウトはサンプルです。



全申込者数	来場者数	参加率
261	178	68.2%

※アーカイブ視聴含む／3セッションのうち、いずれかのセッションを視聴した人数



- ・POL電源の技術進化のトレンドがよく分かった。
- ・最新デバイスを用いた構成例がよく解った。実際に使う段には改めて設計情報収集/勉強が必要であろうが、1手法として知れたことは意義あると考える。
- ・構成が良かったと思います。なぜ必要か？などを含めた動向や技術背景があり、各セッションにうまくつながっていたように感じます。
- ・電源の高効率化のための最新技術（使用方法）をよく理解できました。

など

タイトル	小型化、低消費電力への対応は？ “次世代デバイスのための電源”		
日時	2021年6月22日（火）13:00～15:20		
会場	オンライン ライブ配信セミナー		
定員	-	参加費 無料	主催 アイティメディア株式会社 EDN Japan 編集部
講演	長崎総合科学大学 大学院新技術創成研究所 学術（特命）教授 黒川 不二雄 氏		
協賛	トレックス・セミコンダクター株式会社 Vicor株式会社 マルツエレクトロニクス株式会社		

■ 基調講演情報



長崎総合科学大学
大学院新技術創成研究所
学術(特命)教授
黒川 不二雄 氏

■ 2021年登壇演目 POL電源を支える制御と実装技術

※講師名および協賛者名は開催当時
※コメントは当日アンケートより抜粋

ご留意事項

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承ください。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れの現象を軽減します。

障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、
万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日アーカイブ版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日アーカイブ版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日アーカイブ版をご案内いたします。

個人情報の取り扱いについて

弊社メディア主催セミナーにおける参加者等の個人情報または個人情報を含むデータ(以下「本個人データ」という)のお取り扱いに関し、以下の点をご確認下さい。

1. (本個人データについて)

本個人データは情報主体の同意の下で弊社が協賛企業へ提供するものです。弊社は、本個人データの収集に際しては、日本国内の法令、条例、ガイドライン等を遵守していることを保証いたしますが、本個人データの正確性、完全性、有用性については一切保証いたしておりません。

2. (データ授受)

提供する本個人データは、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

3. (利用目的の制限)

本個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスに関する参加者等の情報主体への情報提供（以下「本利用目的」という）に限定してご利用下さい。本利用目的以外で本個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

4. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

本個人データの利用に際しては、適用される法令、条例、ガイドライン等の遵守をお願いいたします。また、本個人データを元に情報主体へアクセスする際は、必ず「貴社内の連絡先」「本個人データ収集元となったイベント名」および「本個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

5. (管理責任者)

本個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

6. (安全保管)

本データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を合理的な範囲で講じてください。

7. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に弊社及び情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。

ご検討のほどよろしくお願いいたします



アイティメディア株式会社 営業本部
〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル12/13F MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp

